



CONTENTS.....

Interview なぜ正しい座位姿勢が大切なのか？
 新製品開発レポート 仙骨座りとおむつの関係に迫る！



Interview

正しい座位姿勢は 健やかな体と心の出発点です

社会医療法人医仁会 中村記念病院
看護部 師長

はがまさみ
芳賀理己先生

1967年、日本初の脳神経外科専門の医療施設として、北海道札幌市に開設された中村記念病院。その看護部に所属し、運動麻痺や言語障害などの中枢神経疾患患者の看護にあたる。現在、師長として後進育成に努めるかたわら、日本褥瘡学会在宅ケア推進協会・北海道ブロック「WinWin動作介助チーム」の世話人副代表を務め、日常生活援助技術である「ポジショニング」の啓発に力を注いでいる。日本褥瘡学会認定師。

日々の行動の起点となる「座位」

食事、排泄、入浴、睡眠といった日常の活動は、すべて「動作」と「姿勢」から成り立っています。日常生活動作への不適切な介入は体の拘縮や緊張を招き、姿勢の悪さは呼吸や消化などに悪影響を及ぼします。動かない、動くのがつらい体になると、見たいものも見られず、次第に生きる気力も削がれます。これが生活不活発病（廃用症候群）につながり、「寝たきり」の状態をつくってしまうのです。

寝たきりにならず、健やかな日常生活を送るために気をつけたいのが座る姿勢です。寝ている状態から、体の動きを無理なく自然に支え、安定した座位へと導くこと。この一連の動きこそが「離床」の始まりであり、正しい座位姿勢が保持できれば、食事や排泄、起立など、次の行動がよりスムーズになります。

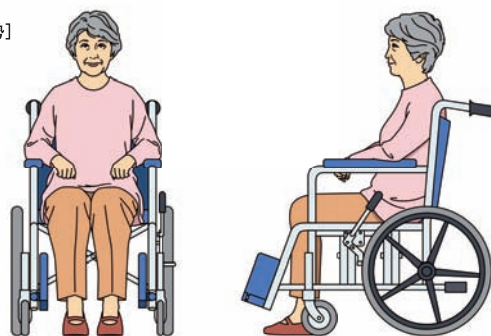
足底や脚の位置に配慮した姿勢が理想

座位姿勢のポイントは、殿部、大腿部、足底の3箇所に体重がのっていることです。特に足底には「メカノレセプター」と呼ばれる感覚受容器が多数存在しており、足底をしっかり床につけて座ることで覚醒を促し、起立や歩行の準備ができます。足～膝～股の関節部の角度は90度で、脚は肩幅程度に閉じていることが理想です(図)。

この理想と真逆なのが「仙骨座り」です。体が前にずれて、仙骨付近に重さが集中するため、褥瘡リスクを高めてしまいます。いくら姿勢を直してもまた仙骨座りに戻ってしまう場合は、適切なポジションが取れておらず、ご本人がどこか不

快感や苦痛を感じているサインと考えてください。例えばおむつがごわついて股ぐり部分がすつきりせず、お腹まわりがきついと、それだけで座る姿勢が崩れてしまいます。モレ防止性能に加え、姿勢の変化に対応できる伸縮性に配慮したおむつを選ぶことが、正しい姿勢づくりにも重要なのです。

【正しい座位姿勢】



学びを深め、より良いライフのためのケアを

当院には、脳卒中発症後、正しい座位保持を続けたことで、表情に力が戻り、機能回復に結びついた患者さんが多くいらっしゃいます。改善が目に見えると、看護・介護する側の意欲はより高まり、さらなるQOL向上につながります。こうした好循環を生むためには正しい知識を身につけ、実践することが何より大切です。人本来の自然な動きにそった優しい動作介助が徹底されているか、おむつの機能を活かした正しい当て方はできているか。ぜひ施設のスタッフ全員で学びを深め、より良いライフ～生活と人生～を支えるケアを進めていきましょう。

仙骨座り解消に向けて / 股間がごわつかない構造を 徹底追究しました!

「介護施設では、離床からわずか20分ほどで仙骨座りになり、辛そうな表情になる利用者さまをお見かけします。私たちにとって何ということもない座位が、じつは高齢者の方には苦痛なのではないか?そんな疑問が開発の出発点でした」。そう語るのは、今回、仙骨座り解消を目指し、新製品の開発を進めた島津健研究員です。安楽な座位をサポートし、離床の促進に貢献したい!そんな思いから綿密な調査・検証を実施。仙骨座りとおむつの関係を探求し、かつてない発想による新構造のおむつが誕生しました。

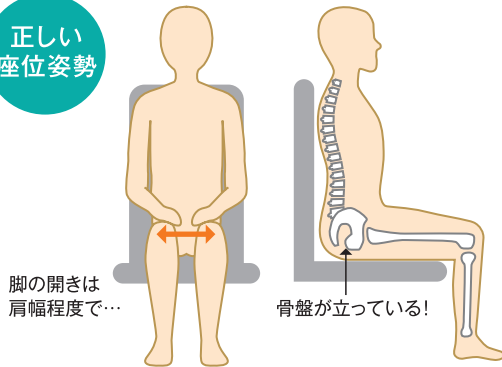
ユニ・チャーム株式会社
グローバル開発本部
商品開発部
島津 健



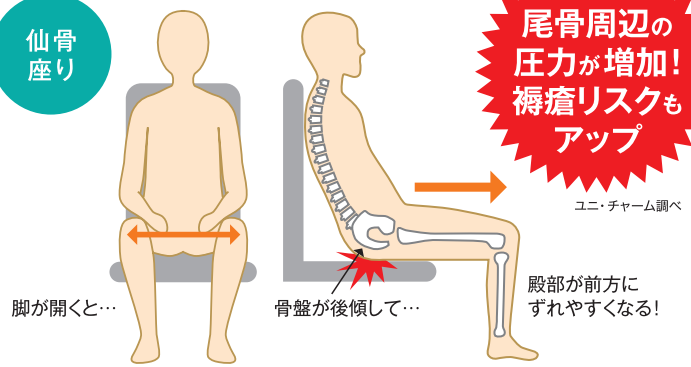
なぜおむつを装着した施設利用者さまの多くが、 仙骨座りになってしまうのか?

正しい座位姿勢では、骨盤を横から見ると、前傾でも後傾でもない、ちょうどまっすぐ立った状態です。しかし、脚が開くと自然に骨盤が後傾し、背もたれに寄りかかってしまって、体が前方にずれていきます。これが仙骨座りです。

正しい
座位姿勢



仙骨
座り



発見!

実は、おむつ装着時の股間のごわつきも、
仙骨座りの要因だった!

体幹や脚の筋肉の衰えた高齢者では、
なおのこと前ずれが進みます。
また従来のテープ止めおむつ(右下)では、
股間がごわごわするため、
より脚が開きやすくなり、
前へ前へと体がずれて
仙骨座りとなって
しまうのです。



そこで考えました /

脚の閉じやすさと
モレ防止性能を
両立した製品を
開発しよう



正しい座位姿勢がとれる
新構造の開発へ

世界初*

股間がごわつかない 「すっきりフィット構造」

*左右一対の吸収体スリット幅がサイド吸収体幅より広い構造。主要グローバルブランドにおける大人用テープおむつ対象 2018年6月ユニ・チャーム調べ



世界初の機能をムービーで解説しています。

脚を閉じやすくするためには吸収体の幅を狭くしたい、しかし、モレ防止のためには吸収体の幅を広くしたい。この相反する2つの要求を高いレベルで両立することは極めて難易度の高い挑戦でした。60種類以上の試作を繰り返すなど、試行錯誤を重ね、ついにこれまでにない新構造を創案。それが吸収体に大きなスリットを入れることで、座った時にサイド部分がセンター部分の上によって立体化する「すっきりフィット構造」(右)です。モレの不安がない上、股間がごわつかなくなったので、正しい座位姿勢を保持できます。「座る姿勢がつかない」「もっと座っていたい」。きっとそう思っていただけの、理想通りの製品ができました。

(島津研究員談)



従来製品より格段に広いスリット幅を設けた(★部分)ことで、股間のごわつきがなくなって、股下もすっきり!

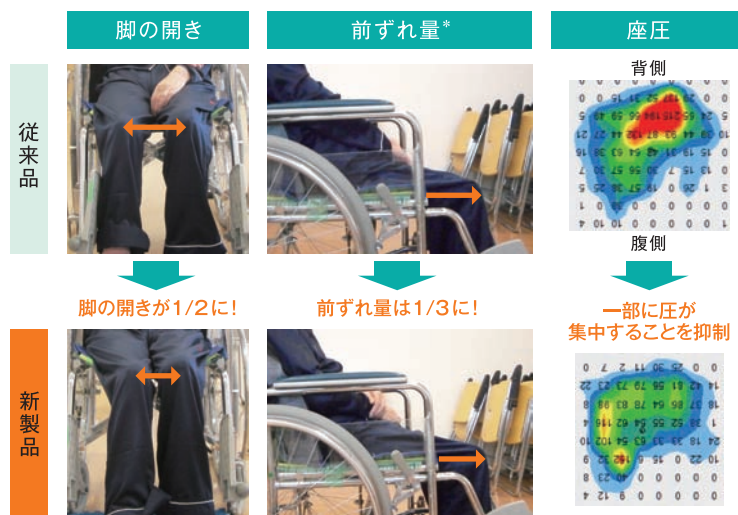
「ごわごわ」から 「すっきりフィット」へ。 その改善効果は?

実際に従来品と新製品を装着し、座位20分後の状態を比べてみました。

※パッドを併用して測定

前ずれ量が
1/3に!
脚の開きも
1/2に!

ユニ・チャーム調べ



*座面の端部から膝までの距離

Voice

実際に使用いただいた
施設スタッフの皆さまの感想です。

着用時の見た目がすっきり!
股の部分が広い分、装着させやすく、利用者さまも「股の部分がごわごわしなくていいね」と喜んでいました。



その人の股間にうまくフィットするので、いつも起こりがちな前へのずれもなく、褥瘡の利用者さまにも安心して使える製品だと感じました。



車椅子に座っている際、つい脚が開いて前にずれてしまう方は、ふだん身体を引き上げて、姿勢を直しているのですが、その必要がなくなって良かったです。



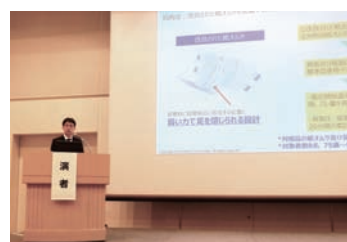
第20回日本褥瘡学会学術集会で発表!

2018年9月28・29日、横浜で開催された日本褥瘡学会学術集会にて、今回の製品開発の過程で得た成果を発表しました。

発表テーマ「座位姿勢における両膝の間隔と重心移動に関する研究」

共同研究者: 北海道大学名誉教授 大浦武彦先生

北海学園大学客員教授 高橋誠先生



正しい離床を促進する発想で誕生しました!

ライフリー のび～るフィット® テープ止め



*アンモニアについての消臭効果がみられます。



特許技術

世界初! すっきりフィット構造

人間工学に基づき設計された3D変形スリットが身体の動きにあわせてフィットし、股下がすっきり! 脚が閉じやすく、正しい座位姿勢をキープできます。

※左右一対の吸収体スリット幅がサイド吸収体幅より広い構造。主要グローバルブランドにおける大人用テープおむつ対象 2018年6月ユニ・チャーム調べ



座位時のモレ安心

座位時のパッドのフィット性が2倍にアップ!

特許技術

のび～るテープ®

軽い力で伸び縮みするので、お腹もラクラク快適! どんな体型でもあてやすい。



↓ 詳しくはこちら
世界初の機能をムービーで解説しています! ぜひご覧ください。



<http://www.unicharm.co.jp/HCO14/index.html>



	適応サイズ (ヒップ)	バックシートカラー
S-Mサイズ	56~106cm	青
Lサイズ	81~128cm	緑

お問い合わせは弊社社員、または下記にお願い申し上げます。

〒108-8575 東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館
ユニ・チャーム株式会社
TEL. 03-6722-1009 FAX. 03-6722-1010

ライフリーサイト
<http://www.unicharm.co.jp/healthcare/>



排泄ケアナビ
<http://www.carenavi.jp/>

